

平成 26 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(第1ブロック(平山除く))

開催日時	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 午後 7 時から午後 9 時	天気 曇り
場 所	山北第 2 児童館	
町民参加者	男 15 人 女 2 人 (40 代以下 1 人、50 代 1 人、60 代以上 15 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、政策秘書課長、福祉課長、保険健康課長、事務局 2 人	

## 出席者から出された主な意見や提案

### 《テーマ：町政全般》

- 第 5 次総合計画重点プロジェクトに適正規模の自治会組織となるよう支援するとあるが、どれくらいの規模で、どのような支援について言っているのか。
- 自治会の規模は自治会活動・災害時の共助などができる体制でなければならないので、70 戸以上あるところを自治会と認めるといように町で定め、ある程度政治的な誘導をするべきでないか。
- 自治会に加入するかどうかは本人の自由だろう。ただし自治会を魅力ある組織にする必要がある。自治会長、組長は、ただ順番だから引き受ける、ただ広報を配付すればいいという消極的な対応は良くない。他町を見ると、もっと生き生きして活動している。自治会未加入者が増加していると言うが嫌がる人を自治会に入れても仕方がない。
- 台地区には空き家が数軒あり、そのうち家主や身内により維持管理されているところもあれば、20~30 年放置され倒壊寸前の家屋もある。対処のために家主の連絡先を教えてもらうことは可能か。また家主と連絡がとれた場合、自治会はどのような対応をしたらよいか。
- 防災ハンドブックを有効に活用するために、自治会でどう取り組んでいくかを考えていく必要がある。
- 防災無線について、「山北町〇〇課から連絡します」は不要だと思う。